

平成26年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	24-1	学校名	県立水戸桜ノ牧高等学校				課程	全日制			学校長名	野内俊明			
教頭名	森田一洋										事務(室)	本麻英明			
教職員数	教諭	12	養護教諭	2	常勤講師	2	非常勤講師	5	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	2	技術職員等	2	計 26
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計		クラス数
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	91	43	134 4
普通科		29	11	14	12	48	20								
科															
科															

2 目指す学校像

県立水戸桜ノ牧高等学校として新たな歴史を刻み、校訓の「至誠、勤勉、協和」の精神を徹底させ、心身ともに調和のとれた人間形成を図るとともに、地域社会に貢献できる学校づくりを目指す。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	いはらき学力向上推進事業や少人数学習熟度別授業の実施を通じて、落ち着いた学習態度の育成と学力の向上を図つていて、学習した内容について、その場では理解できても定着させることに課題を残す生徒が多い。	教員の授業力の継続向上を図りながら、個々の基礎学力を定着させるとともに、生徒に達成感をもたらすとともに、生徒による学習意欲を喚起する必要がある。
進路指導	平成25年度の進路状況（卒業生49名）は、進学24名、就職20名、その他5名であり、不況の中、生徒の個に応じた早期からの進路指導が一層必要な状況である。	進路ガイダンスやインターンシップの全員実施等を通して、低学年からキャリア教育を推進し、進路意識を高める必要がある。
生徒指導	落ち着いた生活態度の生徒が大半であるが、一部の生徒に基本的生活習慣や規範意識による課題が見られる。挨拶の礼行や日常の頭髪・服装指導による社会的常識の涵養と場に応じたコミュニケーション力の育成が必要な現状である。	授業開始時に頭髪・服装指導を行い、好ましい学習環境づくりを行うとともに、自立に向けた基本的生活習慣の育成を図る必要がある。
特別活動	1年生の1学期全員部活動加入で活性化を図っている。また、共同宿泊学習・修学旅行・クラスマッチなどの学校行事を通じて積極性、協調性を育てる必要がある。	1年生を含む部活動を全教員で指導し、放課後の活動を充実させるとともに、生徒の協調性や積極性を育てるホームルーム活動を行う必要がある。

4 中期的目標

- 1 学校行事を精選し、授業時間を確保するとともに、1時間、1時間の授業の充実を図る。
- 2 授業や特別活動等を通して心の教育に努め、モラルやマナーを身に付けさせ、基本的生活習慣の確立を図る。
- 3 挨拶の励行を促進するとともに、遅刻防止や時間厳守の態度を身に付けさせる。
- 4 部活動への加入を促進し、学校活性化に努め、個性の伸長と忍耐力・体力の向上を図る。
- 5 国際理解教育を推進して、国際社会に生きる人間の育成を図る。

5 本年度の重点目標

重 点 項 目		重 点 目 標
1	学力の向上と定着	<p>① 創意工夫を凝らした教材研究や教員相互の積極的な授業研修等を通じて、よりよい授業を開発する。</p> <p>② シラバスを活用して学習意欲の喚起を図り、計画的・継続的な学習をさせる。</p> <p>③ いばらき学力向上推進事業や少人数習熟度別授業を有効に活用して、基礎学力を向上させ、定着させる。</p>
2	基本的生活習慣の確立	<p>④ 頭髪・服装指導や遅刻防止の指導を徹底して、基本的生活習慣を確立させる。</p> <p>⑤ 登下校時や授業開始・終了時、校内での挨拶を徹底させる。</p> <p>⑥ 年3回の計画的な面談や家庭訪問、スクールカウンセラーとの連携等を通して生徒理解に努める。</p>
3	希望する進路の実現	<p>⑦ 3年間を見通した計画的なキャリア教育を実践する。</p> <p>⑧ キャンパス・職場見学、インターンシップ、各種講演会、各種講習会等により進路意識を高揚させる。</p> <p>⑨ 学力向上と定着の取り組みや資格取得の奨励を通して、より確かな進路実現を目指す。</p>
4	特別活動及び部活動の活性化と豊かな人間性の涵養	<p>⑩ 学校行事や生徒会活動、ホームルーム活動を通して、生徒の積極性を引き出す。</p> <p>⑪ 生徒の部活動への積極的な参加を促して、望ましい人間関係づくりと充実した放課後の生活となるように活動させる。</p> <p>⑫ 自他の命を尊重し、他人を思いやる心を育て、豊かな人間性を培う。</p>
5	地域から信頼される学校づくりの推進	<p>⑬ ホームページや地域広報誌、学校新聞等のPR手段を十分に活用して、保護者・地域に対し、積極的に情報を提供する。</p> <p>⑭ 学校評議員や近隣中学校等の意見を参考に、地域と連携した教育活動を開催する。</p> <p>⑮ 学校公開を計画的に実施して、本校に対する地域の理解促進を図る。</p> <p>⑯ 25年度からの分校化に伴い、分校としての特長を活かしながら地域との連携を図る。</p>